

<新共済>の講師になるためのワークショップ

<新共済>の加入推進のリーダーを対象に、
<新共済>の学習会の講師になるための参加・
体験型での実習と学生生活のリスクの実態の
学習と会員での事例学習会の開催方法をともに
学びました！

| 開催日時 | 2018年12月24日 10:30~16:40
| 場所 | 大学生協大阪会館
| 参加人数 | 19年度学生事務局 3名
 会員生協学生委員 1名

■タイムテーブル 10:30~16:40 6時間(昼食含む)※内容を変更することがあります。

- 0) はじめにこのワークショップの目的(5) 10:30~10:35
- 1) 学生生活のリスク、自分の会員の給付実績と事例を学ぶ時間(25) 10:35~11:00 ※進行(関野)
- 1) 新共済を学ぶ講座を受講する(55) 11:00~11:55 ※質疑含む ※講師(藤本) 11:20
- (休憩) 11:55~12:05
- 2) 理解度テスト(10) 12:05~12:15
- 3) 講義のポイントを学ぶ時間(15) 12:15~12:30
- 4) 「どう講義するか」を考える時間(15) 12:30~12:45 ※各自で
- (昼食) 12:45~13:40
- 3) ロールプレイ研修(100) 13:40~15:40 ※進行 Aチーム(関野) Bチーム(竹田)
- ※各チームの3チームに分かれて、ロールプレイをこなす。
- 事前 10分 ロールプレイ (30分+5分) *3名*2チーム 振り返り 5分
- (休憩) 15:40~15:50
- 6) 感想交流(全員で)(30) 15:50~16:20 参加者3分*6+コメント12
- 7) 情報提供(まとめ)(20) 16:20~16:40 ※講師追加コメント10

当日のタイム
テーブルです。
初回は最後
に行った給付事例
学習会を今回は
最初に実施しま
した！

01 学生生活のリスク、全国の給付実績&事例を学ぶ時間

給付事例から組合員の様子を知る

各大学の給付事例を見て組合員の様子を汲み取りました。
給付事例学習会には以下のメリットがあります。

1. 実態を把握することで、組合員の実態に沿った活動
ができる

2. 「自分たちごと」の視点を持ちやすい

今回は「自分たちごと」の視点を持つために行いました。



給付事例学習会
の様子です。各
会員ごとの給付
実績を見て、
各々の大学の
実態を確かめま
した！

02 講義のポイントを学ぶ時間

実際の講義の中で学ぶ「伝える」ポイント

共済連の藤本さんの講義を実際に聞きながら、何を伝えるべきなのか考えました。今回は、「じぶんごと」「4本柱」「共済と保険」「共済募集人」「2019新制度の設計理念」の五つのお話を聞きました。これらのお話をもとに、次の時間で実際に講師になったつもりで自分が大切だと思うことを話しました！



共済連の藤本さ
んの講義の様
子です。様々な
話の中で私たち
の頭の引き出し
を増やすことが
できました！

03 ロールプレイ研修

学んだことを自分の言葉で伝える練習

前の時間で学んだことを自分なりの言葉にして当日の参加者や共済連の方がいる中で発表する練習をしました。発表後の感想交流ではよかった点や改善点を教えていただきました。また、他の参加者の発表を聞くことで、自分では思い浮かばないような言い回しや新しい考え方などに触れることのできる機会となりました。これからの研修等でのヒントをたくさん得られるワークショップでした！



実際に参加者
が発表している
様子です。ほか
の参加者や共済
連の方々が見守
る中での発表、
緊張しました！

次回の共済ワークショップは1月20日です！

今回は会員からの参加が1名でした。会員での学習会をする
上でのヒントをたくさん見つけられる企画なので、次回は
たくさんの人に参加してもらいたいです！

申し込み締切は1月12日です！お忘れの無いように！



関西北陸ブロック学生事務局
[松山実由規]

